

# タンネウシ



タンネウシはアイヌ語で「長い木が群生しているところ」。博物館付近の地名です  
**12**月号

## ロビー展

### 「氷河の山とツンドラの大地 ～アラスカ・デナリ～」

斜里町在住の登山ガイド伊藤典子さん、ナチュラリストの能勢峰・理恵夫妻により、写真や動画でアラスカの自然の様子を紹介し、北米最高峰デナリ山登頂、ヒグマやナキウサギ、ヤナギラン、デナリ山麓の自然の様子など、知床とはひと味違う山岳や氷河に削られてきた広大な自然の風景をお楽しみください。実物大ムースとの背比べなどもご用意しています。▶展示期間：～12月5日(日)▶場所：交流記念館ホール※ロビー展のみの観覧は無料です。



ロビー展会場の様子

## ギャラリートーク

### 「写真展：氷河の山とツンドラの大地～アラスカ・デナリ～の裏側」

開催中のロビー展「氷河の山とツンドラの大地～アラスカ・デナリ～」の企画者である伊藤典子さん、能勢峰さん、能勢理恵さんによるギャラリートークを実施します。アラスカの

現地を訪れた際の様子やデナリ山登頂の時のことなど、展示している写真や映像だけでは伝わらないことをお話しします。▶日時：12月5日(日)1回目：10:00～10:40、2回目：14:00～14:40▶場所：交流記念館ホール▶定員：各回定員15名、要申込※参加無料、開始時間に交流記念館ホールにお集まりください。

## ロビー展

### 「樺太(絵ハガキに見る樺太の記憶～知られざる北の国境)」

日本が統治していた時代の樺太(サハリン)で販売されていた絵葉書を展示します。絵葉書から、当時のサハリンの街並みや人、森林や動物の様子などさまざまな風景を伺い知ることができます。なお、本ロビー展は宗谷管内、オホーツク管内の博物館連絡協議会の連携事業です。ぜひこの機会にお立ち寄りください。▶期間：12月11日(土)～令和4年1月30日(日)▶場所：交流記念館ホール※ロビー展のみの観覧は無料です。



樺太犬にソリを引かせるアイヌ民族

当時の暮らしを描いた絵葉書

## 開館記念イベント

### 「餅つき大会」

2年ぶりに餅つき大会を開催します。開館日(12月28日)を記念して行いますが、参加しやすいよう12月26日(日)に実施します。新型コロナウイルス対策のため、つき手は斜里町内の幼児、小中学生と博物館関係者のみとします。また、ついた餅はその場で食べず、持ち帰りとするので加熱調理してお召し上がりください。マスク着用でご参加ください。▶日時：12月26日(日)10:00～11:30▶定員：60名(要申込)▶場所：博物館前庭・記念館ロビー※参加無料

## 学芸員のイチオシ



**アクリルケース** アクリル製のケースで水の生き物を観察する時に大活躍します。魚を正面から下から、上から様々な角度で観察できます。魚の写真を綺麗に撮影することもできます。下には長さのメモリがついているので魚のサイズを測ることも可能です。(三浦)

**休館日** 12月の休館日は6、13、20、27日(月)と28日(火)の大掃除、29日(水)～1月3日(月)の年末年始

**編集後記** 本年もたくさんの方々にご愛読いただきありがとうございました。(三)